

HIDE'S NEWS

守谷市議会議員 わたなべ秀一 後援会ニュース

2015年 12月号

誰もが
住み良いまちに



ひでかず
わたなべ 秀一
HIDEKAZU WATANABE

守谷市議会議員 わたなべ秀一 後援会ニュース 2015年12月号 2015年12月1日発行 発行人 わたなべ秀一 後援会 企画デザイン/面白商事様より

HIDE'S VOICE

常総市に義援金800万を届ける

わたなべ秀一は、守谷市商工会を窓口とした支援物資の受付や募金活動に参加いたしました。これらの活動は9月11日から数日間に渡り、守谷市内各所や秋葉原駅にて行いました。募金活動では、守谷高等学校の生徒たちも一緒に協力して下さったこともあり大変多くの義援金を集めることが

出来ました。

10月9日には、皆さまからお預かりした義援金の800万円を届けに常総市役所に伺いました。常総市の教育復興の分野で使って頂きたいという思いから常総市教育長にお渡ししました。お隣り常総市の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。



秋葉原駅付近での募金活動



義援金を届けに伺った常総市役所にて

わたなべ秀一 プロフィール

有限会社 渡辺商店代表取締役
生年月日:昭和47年1月8日
守谷市立 守谷中学校 卒業
茨城県立 守谷高等学校 卒業
千葉商科大学 経営学科 卒業
明治大学公共政策大学院 在籍中

平成21~22年 守谷市商工会青年部 部長
がぶりメンチのプロデュース
平成23年 (社)常総青年会議所理事長
平成24年 守谷市議会議員 初当選
平成24年 守谷市消防団第2分団長
現在 文教福祉常任委員会 委員
広報特別委員会 委員
地方創生特別委員会 副委員長

わたなべ秀一 後援会

〒302-0109 守谷市本町260

TEL 090-3234-2809 FAX 0297-48-1487

nabesta1211@yahoo.co.jp

わたなべ秀一 検索

HIDE'S NEWS

9月豪雨から見えた 守谷の課題

この度の『平成27年9月関東・東北豪雨』により被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。守谷市内においても約100世帯に避難勧告が発令されました。また松前台や大山新田、板戸井、鬼怒川沿いの数か所においては、河川水の侵入を防ぐ為に土のうを設置するなどの緊急対策工事がなされました。

守谷市議会、国に意見書を提出

じつは守谷市内を流れる鬼怒川は江戸時代に開削された人工川であり、台地が自然堤防の役割となっており、また守谷市は海拔平均が20メートルと近隣市町村と比べても高台であることから、比較的、水害に強

い街であります。

しかし今後、鬼怒川上流部において堤防のかさ上げ工事が行われると、下流部にあたる守谷市内の鬼怒川水位が更に上昇すると予想されます。これらを踏まえ守谷市議会では、地域住民の安全と安心を確保する目的で、上流部の堤防改修工事と同時に、守谷市内の浸水危険箇所を越水防止工事の早期着工を求める意見書を国の関係所管に提出いたしました。

緊急時における情報伝達手段

今後、守谷市が取り組むべき課題として、災害時等における情報伝達手段の見直しが挙げられます。今回の常総市では、防災無線や広報車による避難指示等の呼び掛けは実施されましたが、雨音により聞こえづらかったとの被災者の声を聴きました。また携帯電話サービスの『緊急速報



市内の鬼怒川と利根川の合流点。左が鬼怒川、右は利根川。

HIDE'S NEWS

保育所の最新情報

10月1日時点の入園希望待ち人数は352人でした。これまでの守谷市の対応としては、松並地区に建設中のマンションに利用定数19名の小規模保育を新設し、また新設保育園の利用定員を60名から90名に計画変更の要請をするなどの対策をしております。更に平成28年度以降に、松並地区にて保育園の増設計画もあります。また許可外保育園ですが、久保ヶ丘地区に1園の新設予定も来春までに予定されております。

現在、特に0〜2歳児の子どもの入園が非常に困難であります。保育士不足の課題もあり、満足のいく子育て支援はなかなか難しいのが現状ですが、一歩でも改善がなされるよう注視してまいります。

HIDE'S NEWS

介護・福祉への取り組み

2014年12月号でもお伝えした、市内3か所の介護福祉施設は全て開所されましたのでご報告致します。

小山地区	介護老人保健施設 アイケア
大山新田地区	特別養護老人ホーム やまゆりの郷
松並地区	介護付有料老人ホーム サンシャイン・ヴィラ

守谷市の第七期(平成30年度以降)高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定では、社会情勢などの動向次第で更に新設置の計画を進めるとされており、現在の守谷市は、地域で支え合う誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりを目指して、在宅介護にも力を注いでいるところです。

HIDE'S NEWS

下水から生み出る メタンガスで発電

10月1日より守谷浄化センターにて『消化ガス発電事業』が開始されました。これは下水処理の副産物として生まれる膨大な量のガスを廃棄するのではなく、発電事業者に売却する事業になります。事業スキームは、完全民設民営※方式と呼ばれ、市の事業負担がなく財源の確保ができるのが特徴です。この事業により守谷市は20年間で8000万円円の収入を得る見込みです。

※ BBO (Buy-Build-Operate)

野木崎地区にある
守谷浄化センターを視察

